

## 32、 Duchenne 型進行性筋ジストロフィー 症の心機図所見、特に機能障害との 関連及び経時的变化 （第 2 報）

国立療養所東埼玉病院

田村 武 司      井 上      満  
石 原 伝 幸      井 上 満 太 郎  
今 泉 順 吉

我々は既に昭和51年度の本研究班会議において、46例の Duchenne 型 PMD 患児を対象として運動機能障害と心機図所見との関係等について発表した。今回は、①更に症例を増して同様の検討を行い、②同一症例について心機図の経時的变化を追究し、殊に機能障害の上昇した症例との関連を考察し、③色々な年令の正常コントロール例と比較検討したので報告する。

### 〔方法並びに対象〕

Mingograf 62 を使用して心音、頸動脈波、心電図を紙送り速度毎秒 100 mm で同時記録し、PEPc、ETc、は Weissler 等の式を用いて算定した。対象は Duchenne 型 PMD 患児55例であり、これを Swinyard 等の機能障害度により3群に分け1～4度をグループⅠ、5～6度をグループⅡ、7～8度をグループⅢとした。正常コントロール例は2才～16才の男子26例であった。

### 〔結 果〕

図1.に示すごとくグループⅠ、Ⅱ、Ⅲと障害度が進むにつれ PEPc は 0.113 秒、0.129 秒、0.138 秒、と増加し ICT は 0.025 秒、0.035 秒、0.044 秒と増加し PEP /ET は 0.307、0.374、0.427 と増加し ETc は 0.395 秒、0.389 秒、0.386 秒 と減少の傾向を示した。患児から得られた左室収縮時間諸量と夫々同年令の正常例のそれとの差をグループ別に平均してみるとグループⅠ、Ⅱ、Ⅲと機能障害度が進むにつれて、表①に示すごとく△ PEPc、△ ICT、△ PEP /ET は増加し△ ETc は減少の傾向を示した。機能障害度が1度以上進んだ Duchenne 型 PMD 患児16例の左室収縮時間の変化を追ってみると、表②に示す如く障害度の変化前後の差の平均△ PEPc、△ ICT、△ PEP /ET は増加し△ ETc は減少の傾向を示した。

### 〔考察並びに結語〕

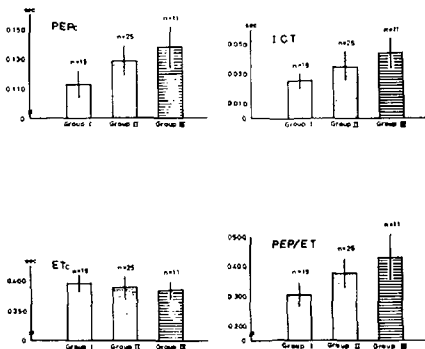
- ① 55例の Duchenne 型 PMD 患児の心機図を検討した結果、グループⅠ、Ⅱ、Ⅲと障害が進むにつれて PEPc、ICT、PEP /ET は増加し ETc は減少の傾向を認めた。
- ② 小児の心機図の成績には、年令の因子が影響を与えるという報告がある。今回我々は心博数の他に年令を考慮して Duchenne 型 PMD 患児の左室収縮時間諸量と同年令正常者のそ

れとの差の平均値を求めた結果  $\Delta$  PEPc、 $\Delta$  ICT、 $\Delta$  PEP/ET は増加、 $\Delta$  ETc は減少の傾向があり、しかもその傾向は機能障害度が進むほど著しかった。

- ③ 経過観察中に機能障害度が1度以上進んだ Duchenne 型 PMD 患児の左室収縮時間諸量の変化を追ってみると、障害度の変化前後で PEPc、ICT、PEP/ET は増加、ETc は減少の傾向を示した。

(図 1.)

Average values and S.D. of P.E.P.c, I.C.T., E.T.c. and P.E.P./E.T. in 55 patients with P.M.D., Duchenne type.



(表①)

Average deviation of the systolic time intervals with P.M.D., Duchenne type from the normal values for the same age-groups.

	$\Delta$ P.E.P.c (sec.)	$\Delta$ I.C.T. (sec.)	$\Delta$ E. T.c (sec.)	$\Delta$ PEP/ET.
Group I	+0.004	+0.004	-0.044	+0.022
Group II	+0.017	+0.010	-0.006	+0.078
Group III	+0.023	+0.011	-0.004	+0.115

(表②)

Follow-up study of Mechanocardiography in 16 patients with P.M.D., Duchenne type. \*

$\Delta$ P.E.P.c	$\Delta$ I.C.T.	$\Delta$ E. T.c	$\Delta$ PEP/ET.
+0.003 sec.	+0.002 sec.	-0.006 sec.	+0.026

\* Average of difference between the initial and the second systolic time intervals.

16 patients had changes in functional ability more than 1 stage.

↓  
**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります  
↓

我々は既に昭和 51 年度の本研究会議において、46 例の Duchenne 型 PMD 患者を対象として運動機能障害と心機図所見との関係等について発表した。今回は、更に症例を増して同様の検討を行い、同一症例について心機図の経時的变化を追究し、殊に機能障害の上昇した症例との関連を考察し、色々な年齢の正常コントロール例と比較検討したので報告する。